



Kainan East Rotary

DISTRICT 366

CLUB WEEKLY BULLETIN

事務所 海南市日方1294 海南商工会議所内 TEL (07348) 2-4363

例会日 毎週月曜日 12時30分 ♣ 1例会のみ 18時30分 於海南商工会議所 4 F

会長 吉田隆一 幹事 片山博之 会報委員長 坂上充作

才65回 例会 昭和51年11月8日(月) 於海南商工会議所

1. 開会 司会 谷井昭三

2. ロータリーソング 「我等の生業」

3. 出席率 92.59% 会員総数27名 出席者数25名 前回修正出席率 92.59%

4. ビジター 神前美津男様(和歌山南R.C.) 西出慶二様(有田R.C.)
山中 静様(") 浜地健次郎様(")
和佐 勝様(海南R.C.)

5. 会長スピーチ

◎ 11月は13日14日のI.C.G.F.と29日のガバナー公式訪問と重要な行事が続いている。I.C.G.F.には全員出席義務者になっているので皆様の御協力をお願い致したい。出発詳細については後程幹事から説明があると思う。

ガバナー公式訪問については皆様の努力により各委員会の活動報告書と書類上の準備が既に出来上っている。御承知の通り ◎ 会長、幹事とガバナーとの協議

◎ クラブ協議会 ◎ 例会に於けるガバナーの講演の3部から成り立っているわけです。此のクラブ協議会にはクラブの役員、理事、各委員長の出席が要請されているが当クラブでは全員が役員、理事、委員長のため全員の出席が必要となるわけです。12月を控えた月末で御忙がしい事と思いますが会員全員の出席をお願い致しておきます。

去11月19日に行われた才366地区 情報研究会に基づいたクラブ協議会を後程開きたいと思っておりますので情報、会員増強、世界社会奉仕の各委員長はよろしくお願い致します。ロータリー財団委員会は来11/14~11/20迄ロータリー財団週間になっていますので11/15の例会に開きたいと思っておりますので委員会の方はよろしくお願い致します。

6. 幹事報告

◎ 会長から話のありましたI.C.G.F.参加要項は11/13日(土)商工会議所前を9時30分海南R.C.と合同でバスにて出発致します。I.C.G.F.終了は17時の予定です。

7. ニコニコ箱 岡田君(海南R.C.海南東R.C.合同ゴルフコンペに於て優勝)
中村隆君(11/7黒江小学校100周年記念式典盛大裡に無事終了)
片山君(式典当日名司会振りを發揮されました)

“SERVICE” I believe in ROTARY 「奉仕」ロータリーを私は信奉する

◎ 上田情報委員長

地区情報研究会の内容につきましては去 10/25 の例会で会長が報告されましたが「あなたのクラブのためのよりよいロータリー情報」のテーマで熱心な討議が行われた。最も大切なことは正しい情報(自分の判断をまじえない正確な情報)をクラブ会員に伝達することである。情報の吸収にはロータリー文献や雑誌(R. I. ニュース、ガバナー月信ロータリーの友……)等を熟読すること。又クラブ週報にはロータリー情報の欄を設けることも重要である。

新入会員に対しては推薦者、情報委員会は勿論全会員の責任として積極的に話しかけ親睦と共に情報の伝達をはかること。又フェアサイドミーティング等の機会を多くし家族共々ロータリーに親しみ勉強する事も必要であるなど熱心な討論と色々の要望が出た。

◎ 奥村会員増強委員長

研究会は 才365地区直前ガバナー 千宗室氏がカウンセラーになりまして最初スライドにより会員増強の問題点を指摘解説されたあと「ロータリークラブの会員増強について」のテーマのもとに話を進められた。会員増強は全員の協力によって出来るものであり全ての会員が増強の問題を常に意識し、我々の勤めである事を自覚してほしい。増強の方法として年代表を作り年代的に偏る事に留意したり5人位のチームを作り互に話し合いの上で新入会員を推薦し入会後もそのチームが責任を持って指導にあたる方法も良いと思うと云う事でした。又新入会員を推薦するのに何%位の資格が必要であるかと言う質問に対しカウンセラーは明確に人格、融和、奉仕等を考え60%の資格があれば立派なロータリーアンになれると答えていた。

以上で研究会の報告を終わりますが当 R. C. の会員増強の際には根廻しが足らなかった点を反省している。今後は方法等を良く話し合う必要があると思っている。

◎ 山田世界社会奉仕委員長

発足後、日の浅い当 R. C. の中で目下ロータリーについて勉強中の私にとって研究会当日のテーマ「より対果的な世界社会奉仕について」の討論は余りにも程度の高い話が多過ぎたように思う。

R. I. が仲介となり開発途上国のクラブからの援助申し出を受けて全品物資を贈る計画になっているが不平、不公平の声を聞くことがあり又 R. C. や会員が奉仕しているつもりでも、どこ迄理解されているか疑問があり贈る側の善意が確実に末端迄届いていないケースもあると云う。大きいものは地区で小さいものはクラブでやっていただきたいが R. I. には「世界社会奉仕目標」が作製されている。援助を提供するクラブ亦は地区は此の一覧表によって適切と思われる目標を選定しその目標番号による資料を検討の上実施の可能性のある場合は援助要請クラブと直接接して契約を結ぶようにしてほしい。

今後は海南 R. C. や近隣 R. C. と連絡や情報の交換を密にして手を取り合って世界平和のため会員の結集を計っていききたいと思う。